

全青会が社会貢献活動

名古屋市などに車イス26台寄贈

ノズルチップの収益金で

全国鐵構工業協会 青年部会(略称・全青会、会長 中原稔・宏和工業社長)は、社会貢献事業の一環として、車いすを名古屋市の東山動植物園に10台、同市社会福祉協議会に16台の計26台を寄贈した。車いすはすべて全青会のネーム入りとなっている。

同園の水谷薫公園長は「本当にありがたいこと。当園には子どもからお年寄りまでたくさんの方々の来園がある。すでにいろいろな方面から問い合わせがある。いただいた台数以上に需要がある」とコメント。

同協議会の立松博事務局長は「車いすの



中原会長(中央)と水谷・東山動植物園園長(左)、立松・社会福祉協議会事務局長(右)＝全国大会の贈呈式にて

「車いすの



車いすはすべて全青会のネーム入り

活用は、現場だけでなく、例えば、小・中学校の福祉教育という観点から、実際

に学校に貸し出し、体験することで、障がい者の方や一部身体の不自由な方への理解が深まると認識している。福祉の風土作りにも役立てていきたい。深く感謝している」と話した。

全国大会当日には、総会終了後に贈呈式が行われ、中原会長が水谷園長と立松事務局長に目録を手渡した。これに対して、それぞれ全青会



幹部が全国大会前日に福祉協議会を訪問

に感謝状が贈られた。全青会では今後も、こうした社会貢献・ボランティア活動を引き続き展開していく方針だ。



東山動植物園



愛知県知事 大村秀章

名古屋市長 河村たかし